

逗子の景観まちづくり

瓦版 第二十六号

平成二十六年四月十五日

編集 逗子市環境都市部まちづくり課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百字以内の景観に

関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.kanagawa.jp

「逗子の空気」

横須賀線に乗って、東京方面から大船を過ぎて北鎌倉に着くあたりから電車の音と何か空気が変わってくると感じるのは私だけでしょうか。



ちぎり絵 「逗子仲町橋付近」 森田 美智子

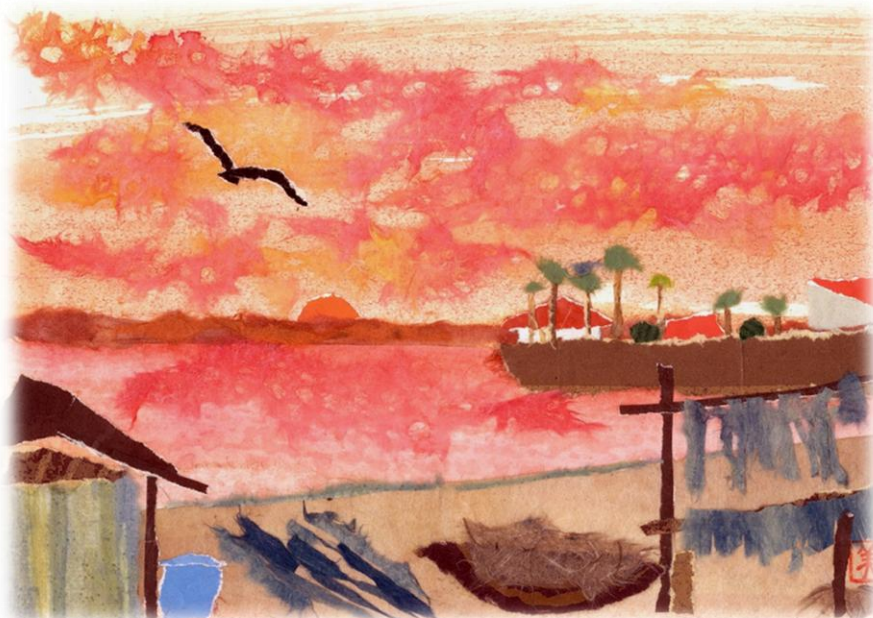
ホッとするんです。逗子駅に着いて改札を通り、水道路を通って自宅まで。生まれてからずっとこの逗子の空気を感じています。

昨年「逗子景観フォトコンテスト」の企画があり、いつもは車や自転車でせかせか動きまわっていました。カメラ片手に逗子界隈をウロウロ休みの度に歩き回りました。小坪の夕焼け、逗子海岸からの富士山、東逗子の海宝院、神武寺など小さいころ印象に残っているところをブラブラしてパチリ。でも何かこう強烈なインパクトのある写真は撮れないかと考えているうちに、そうだ逗子ってその強烈さのないところがいいんじゃないのかなって思うようになったのです。

今回「期間賞」に選んでいただいた仲町橋の桜を題材にした「桜+SUP||現代の花見」も自分で選んでいて、ホッとする逗子の空気が表現できているような感じがしたので応募してみました。赤い仲町橋の下をのんびりとSUPが通り抜け、丁度桜もほどほどに咲いていて、いかにも逗子らしい時間が流れていました。

逗子再発見!もっと、ずっとすんでいたいホッととする街でありますように!なんて思っただけじゃダメ!更に魅力アップするため頑張りましょう。

文 杉浦 正典



ちぎり絵 「小坪の夕焼け」 森田 美智子

※SUP(スタンドアップパドルボード)とは、ボードに立ってパドルで漕ぐ水上スポーツです。
※杉浦さんの「桜+SUP||現代の花見」は逗子ステキ発見!!景観フォトコンテストで第2期間賞に選ばれました。
写真はまちづくり課のホームページの他、瓦版第17号でご覧いただけます。

逗子の景観を考える vol.3



市民と協働し、みんなで景観を考える本「まちなみデザイン逗子」を発行しました！！

「まちなみデザイン逗子」について

みなさんは、「逗子の景観を保つ・向上させる」のは誰だと思いますか？そんなの市役所（行政）でやるものだろうと考える人がほとんどではないでしょうか。確かに、行政の担う役割は大きなものです。しかし、私たちが日々目にする外の風景、家の周りの日常風景も景観に含まれるのです。近所を歩いていて、庭に植えられた木や綺麗な花が咲く花壇を見て、素敵だな、ホッとするな、と思うことがあるのではないのでしょうか？

「景観」と聞くと難しいことのように感じるかもしれませんが、実は、誰でもすぐに「景観」にかかわることが出来るのです。自分ひとりでも素敵な景観をつくる事が出来る！そのヒントとなる例を「まちなみデザイン逗子」に掲載しました。この冊子の中にはすぐに始められるような取り組みの例も載っており、読めばなるほど！と思えるような内容になっています。

そして、すでに市民の方が取り組まれている景観を向上させる活動の紹介、心地よい場所やみんなが集まる拠点の紹介等、生活に役立つ情報が盛りだくさんです。

「まちなみデザイン逗子」は、まちづくり課窓口で配布しています。どんなことが出来るのか、まずは手にとってみませんか？



3月21日に春のまち歩きを実施し、総勢32名で路地、住宅街、ハイキングコース、歴史遺産を解説しながら約6キロの道のりを歩きました☆
逗子の景観まち歩きは、単に心地よい景勝ポイントを巡るだけでなく、住宅街や路地にある良いところ悪いところ、開発問題などを解説します。それらを考えながら歩くことで良好なまちを意識して保全したり作っていくことの重要性を多くの人に気付いてもらえたらと思っています
次回の開催をお楽しみに☆

瓦版の編集担当は 逗子市環境都市部まちづくり課♪

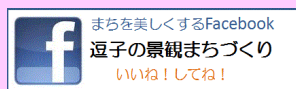
電話：046-873-1111 FAX：046-873-4520

Mail：machi@city.zushi.kanagawa.jp

逗子の景観まちづくり

検索

クリック！



瓦版に掲載する
逗子の景観コラム、
イラスト募集中！！



☆瓦版のバックナンバーは逗子市庁舎一階、まちづくり課窓口、市民交流センターに配架しています。他のナンバーも是非ご覧ください。